

平成29年度
市 政 懇 談 会
口 和 地 域

と き：平成29年8月9日（水）19時～

と ころ：口和自治振興センター

1 開 会

2 あいさつ

- ・ 市長
- ・ 自治振興区代表者

3 意見交換

■ 地域テーマ

地域を守り 暮らしていくために！！

○自治振興区提案（20分）

○意見交換（60分）

質問・回答

4 閉 会

配布資料

- 資料1 地域テーマ資料（自治振興区資料）
- 資料2 地域テーマ関連資料（市作成資料）
- 資料3 事前要望回答
- 資料4 市からの情報提供資料

平成 29 年度 市政懇談会地域テーマ資料（口和自治振興区）

地域テーマ	地域を守り 暮らしていくために！！
地域テーマの 選定理由	<p>近年、高齢化・過疎化が進む地域において多くの課題が発生しつつある。</p> <p>諸課題に対応し、「地域を守り、暮らし続けるため」に地域テーマとした。</p>
現状及び課題	<p>① 現状は…</p> <p>地域の高齢化、過疎化がすすみ、固定資産の維持管理に、多くの課題が発生しつつある。中でも空き家が増え、空き家の維持管理が困難となっている。また、山林部に見られるように境界の不明化が進みつつあり、農地も含めて、相続放棄をするものも多く出てきている。</p> <p>集落においては農家の経営状況や高齢化等から耕作放棄地が発生しつつあり、戸数の減少も含めて集落の維持が大変難しくなっている。</p> <p>② 課題は…</p> <p>口和地域では、地籍調査が行われておらず、特に山林部において所在地や隣接地番の確定・所有者確認等の困難さから手続きに至らない場合もある。</p> <p>空き家については持ち主や関係者の帰郷が疎遠となり、空き家の傷みがより進んでいる。</p> <p>来年度からの生産調整制度の改正に伴い米への直接支払交付金の廃止など農業を取り巻く環境がより厳しくなっていくことから、農業意欲の衰退や後継者不足から荒廃地の増加が懸念される。</p> <p>過疎化が進む中で、世帯数の減少から、集落の維持が困難な地域も出つつあり、市道等の環境整備や葬儀など集落機能が減少しつつある。</p>
自治振興区の 取り組み	<p>境界の明確化に起因する取り組みについては、自治振興区では、取り組んでいないが、農業経営に関して、荒廃地を進める要因の有害鳥獣対策や農業法人などについて先進地視察や研修会を開催している。</p> <p>空き家対策については、数年前から空き家対策調整委員制度や地域マネージャーを設置して、市の移住定住コンシェルジュと連携し空き家バンクへの登録や定住者の受け入れなどを実施している。また、庄原暮らしお試し住宅の運営などもモデル的に試行している。</p>

<p>提案事項 又は 地域の思い等</p>	<p>① 農地の維持のための行政指導 今後、稲作を中心とした当地域では、農地を維持していくために、行政・地域・JA 等が連携し、課題の解決に向け、対応することが必要となってくる。そのために行政においての更なる指導が必要と思われる。</p> <p>② 支所での総合窓口担当者の設置 境界や相続等に関する問題、空き家対策「廃屋対策」の解決に向け支所に担当者及び窓口の設置。</p> <p>③ 空き家の放置や耕作放棄地に合わせて相続放棄などを防ぐための調査等の実施が必要と思われる。</p>
<p>期待できる効果</p>	<p>① 細やかな対応から、農業への不安感や不満を軽減することで、農業への意欲を高めることが期待できる。</p> <p>② 課題に直面している地域住民や I・Uターン希望者が相談しやすい体制を整えることで、より細やかな情報が提供できる。</p> <p>③ 農地、山林、空き家など利活用したい人に提供できることを期待する。</p>
<p>質問事項</p>	<p>1 個人情報観点から難しい面もあるが、相続のための隣接地についてより確実なスピーディーな把握方法はないものか。併せて、国土調査は今後口和地域において着手することができるか。</p> <p>2 空き家及び廃屋対策や、農地の利活用、土地の境界に関する総合的窓口を支所に設置することが、これからの権利者と利活用したい人との仲立ちはできないか。</p> <p>3 口和自治振興区では振興計画書作成時、在住者には「今後の後継者の状況」や「空き家になった場合貸すことの可否」「耕作することができなくなった場合の対応」などの質問をアンケート方式で実施しているが、行政においては不在地主等へのアンケート等を実施して、空き家や農地山林などの荒廃地を防ぐための調査はできないか。</p> <p>4 生産調整の廃止に伴う代替の制度はあるのか。米の直接支払交付金廃止に伴う対策はあるのか。</p> <p>5 農地を維持していくための、農業法人や担い手農家の育成についてこれまで以上の助成や指導はあるのか。</p>